



1 東京消防庁応急手当奨励事業所

自社の従業員のみならず、地元の皆様に対して「いざという時に手を差し伸べることができるように。人の命を救う力となるように。」という思いをベースに事業所全従業員 96 名の 30%にあたる 29 名が救命講習を受講し、平成 26 年 12 月に東京消防庁応急手当奨励事業所として救命講習受講優良証の交付を受けました。毎年 10 名前後の異動があり、平成 29 年 9 月までに累計 68 名が救命講習を受講し応急手当奨励事業所としての使命を堅守中です。

2 台東区東上野六丁目南町会様との災害時応援協定を締結

事業所として、東日本大震災被災地の復興支援に携わる中で、災害時の共助の大切さを強く意識し、発災時に台東区の事業所として地元の東上野六丁目南町会様とともに事業所として何ができるかという思いを強くして、町会役員の皆様と

浅草消防署と連携して何度も話し合いし、方向性を定め、事業所と町会がお互いを補完し地域の防災力を向上させて共に災害に強い組織連携を目指した結果として、平成 27 年 3 月 19 日に災害時応援協定を締結するに至りました。協定締結後に事業所として、町会が事業所に特に望まれた応急手当支援に対応できる為に、訓練用の AED & レサシン（大人・小人・ベビー）等の資器材を購入し事業所内反復訓練や町会との共同訓練ができる準備をしました。締結後に町会において、防災倉庫の棚卸や鍵当番の再確認や消火栓・消火器の点検、防災MAPの作成等の自助努力としての防火防災対応力を向上されてきました。

平成 28 年 3 月と 12 月に町会との綿密な打合せの上で、地元町会の太田台東区議会議長、浅草消防署、浅草消防第 4 分団、東京消防庁OBと多くの関係者の支援を頂き、発災対応型訓練を実施させて頂きました。



事業所内応急手当訓練（ベビー）



事業所内応急手当教育



地域での災害対応資器材の共同使用訓練



応急救護所での受傷者手当訓練

3 首都圏での災害発生に備えた資器材等の整備

台東区の災害資器材や災害食の避難所別の備蓄や町会の資器材の補完リストを確認して初期消火対応で効果が期待されるスタンドパイプが未配備であることから、災害発生時の対応資器材整備の必要性を強く感じ、事業所で社会貢献活動の一環という立場で、優先順位の高い災害用資器材として、スタンドパイプセット・AED・イーバックチェア等を整備させて頂きました。

4 東京消防庁浅草消防署との連携

浅草消防署災害時支援ボランティア活動に参加して、台東区・第六消防方面合同総合水防訓練や各種震災訓練への参加や年間を通じての様々な訓練参加で、知識・技術を高め、いざ災害に備えています。消防署主催の救急フェアや防火防災のつどいや消防署の1日公開行事に参加して防火防災の呼掛けのお手伝いや自社の防災装備品の展示等で各町会防災団の皆様への情報提供等や自社キャラクター参加で、将来の地域防災の担い手の子供達



初期消火訓練

との触合いを通じて防火防災意識の高揚につながる地域貢献をさせて頂きました。

5 最後に（初志貫徹）

平成23年の東日本大震災を契機として、本格的に自社の防災対策も含めて、地元町内会との相利共生を5年以上の月日を掛けて、やっと一つの答えが見いだせたと感じています。活動を支えて下さった浅草消防署の皆様のご指導ご助言が初志貫徹できた大きな支えでした。

結びに、都市部の多くの事業所がそれぞれの地域で、地域防災力の担い手として積極的に関わって頂き、多くの活動事例を公開してくださることを楽しみにしています。